

国語科学習指導案

庄原市立西城小学校 佐伯 友衣

1 日時 令和4年11月7日(月)第5校時

2 学年 第2学年1組 男子7名 女子3名 計10名

3 単元名 どうぶつすごいぞ! ひみつクイズを作ろう 「ビーバーの大工事」
(東京書籍「新しい国語 二下」)

4 単元について

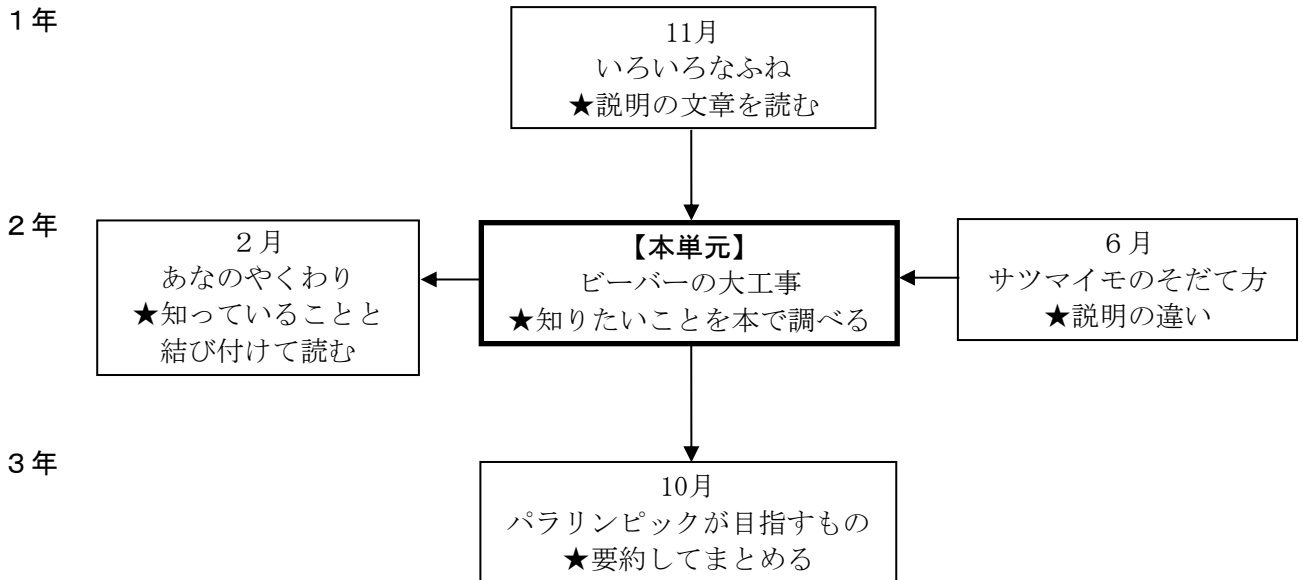
(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)国語第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕「C読むこと」の指導事項(1)「ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を受けて設定している。

自分の調べたいことについて、重要な語や文、事柄を選び、文章の中から、自分の調べたいことについての重要な語や文を考えて選び出す力を育成するには、「ビーバーの大工事」を読み、書かれている内容を順序に気を付けて確かめ、見つけた「ひみつ」をまとめる学習を行う必要がある。

本単元で扱う「ビーバーの大工事」は、ビーバーの巣作りについて、体の構造や機能と関連させて説明した文章である。児童は、まず題名や扉絵に興味を引きつけられ、ビーバーの「ひみつ」を見つけていくことに興味をもって読み進めるであろう。ビーバーが「木を切り倒し川へ運ぶ」「ダムを作る」「巣を作る」という工程が順序よく説明されており、最後に巣作りの目的が明記されているため、まとまりごとに「ひみつ」を見付けやすい教材である。

【単元の系統】



(2) 児童観

本学級の児童は、これまでの説明的な文章でも言葉に着目して学習を進めてきた。5月に行った「たんぼぼ」では、成長過程が順序よく書かれていることを学習している。たんぼぼを校庭や町で見付けて観察したり、挿絵や図鑑をもとに実物の構造を確かめたり、たんぼぼのひみつを教科書や図鑑なども使って意欲的にまとめることができた。6月に行った「サツマイモのそだて方」では、教科書の扉絵とは異なる写真を提示したが、児童は数日前に1年生と学級菜園でサツマイモを植えたことを想起し、すぐにサツマイモだと気付くことができた。これからどのように育っていくのか、また、どのように育てていけばよいのかということについて、サツマイモ植え体験を想起しながら学習に取り組むことができた。

以下、本単元に関わる力についてのアンケート結果である。

アンケート項目	肯定的評価の割合 (n=9)
国語が好きです。	100%
説明文が好きです。	100%
教科書の文章を読むとき、どんな内容か理解できます。	78%
大事だと思う言葉や文章を自分だけで見付けることができます。	78%
大事だと思う言葉や文章にだけ線を引くことができます。	67%

この結果から、他項目と比べて「大事だと思う言葉や文章にだけ線を引くこと」に苦手意識をもっている児童が多いことが分かる。これまでも、教科書や図鑑に書かれていることの中から自分の知りたいことや書きたいことに関連する文章が分からず、関係のないところまで線を引いてしまうなど、大事な言葉や文を見付けることや内容を読み取ることに課題が見られた。

(3) 指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

① 単元の見通しの明確化

ビーバーの巣の写真を見せたり、考え聞かせをしたり、教師自作の「どうぶつすごいぞクイズ」のモデルを提示したりすることで、児童の意欲を喚起するとともに、単元の最後に動物のひみつクイズ大会をするというゴールを見通すことができるようにする。モデルをどのようにして作成したかを、対話を通じて考えさせることで、「大事な言葉や文を見付ける」という指導事項と、着目した叙述に線を引くという思考操作に気付かせたい。その上で、児童と共に単元の学習計画を立てていくこととする。また、動物について書かれている図書を学習のスタートから準備し、並行読書を充実させ、動物クイズに対する見通しをもたせる。準備する図書には図鑑も取り入れる。

② ワークシート等の工夫

書かれていることを順序よく読み取ったり、大事な言葉を落とさず抜き書きしたりする力をつけるために、ワークシートを活用したい。教材文には、難しい言葉が多数書かれているので、「大切な言葉に線を引く」「教材文中の写真を活用する」「動作化する」等の方法で、書かれている内容を正しく捉えさせたい。

③ クイズ作りの支援

手順を順序よく示したり、クイズの文型を例示したりする等の支援を行いたい。クイズを作るための本は、内容理解のため、学校及び家庭においても繰り返し読ませる。1年生に向けた本番のクイズ大会の前に、学級の友達とクイズを出し合う場を中間発表会として設定することで、互いのよさや修正すべき点に気付くことができるようにしたい。単元の終末では、身に付けた力を今後どのような場面で役立てられそうかということについて振り返らせる。

④ 教室環境の整備

クイズ作りに向けて、司書教諭と連携を図りながら、ビーバーに関する本や様々な動物の秘密について書かれている本を教室後ろに置き、並行読書できるよう環境を整える。

5 単元の見目

○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識及び技能] (2) ア

○文章の中の重要な語や文を考えて選り出すことができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) ウ

○言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする。
「学ばに向かう力, 人間性等」

6 単元の評価規準

図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み, 分かったことなどをクイズにして説明する活動を通した指導【言語活動例 C (2) ウ】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において, 文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。	・進んで, 動物に関する本や図鑑等から重要な語や文を考えて選り出し, 学習課題に沿って分かったことをクイズにして説明しようとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況 (B)】	「努力を要する」状況 (C) と判断した児童への指導の手立て
思考・判断・表現	クイズ作りを通して, 教材文や本, 図鑑等を読み, 知りたいことに関係のある大事な言葉や文を選り出している。	文章を読む範囲を細かく区切ったり, 資料のページを指定したりして, その動物ができることについて書かれてある部分を選り出せるようにする。
	<p>表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>二年</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p style="text-align: center;">絵</p> </div> <p>裏</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">答え</p> <p>てきに見つからないように みをまもるため。</p> </div>	

7 指導と評価の計画（全 15 時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・評価方法等
一	1	○ビーバーの巣の写真を見たり，考え聞かせを聞いたり，教師自作の「どうぶつすごいぞクイズ」を見たりして，学習の見通しをもち，学習計画を立てる。				
		<p><u>単元のゴール</u> 大事な言葉や文を見付ける学習 知りたいことにかんけいのあることばや，くわしく書いてあるところに線を引き，「どうぶつすごいぞクイズ」を作ろう。</p>				
二	2	○教材文を読んで，内容の大体をつかみ，ビーバーについて「すごいな」「不思議だな」と思った部分に線を引く。				
	3 4 ⑤ 6	○クイズ作りのコツに気がつき，クイズを作って交流する。 ・木を切りたおすビーバー ・ダムを作るビーバー ・すを作るビーバー		○		〔思考・判断・表現〕 <u>ワークシート</u> ・「読むこと」において，文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
	7	○クイズ作りを通して分かったビーバーの「すごい」ところを確かめていく。				
三	8 9 10 11 12	○本や図鑑などの探し方や調べ方について知り，他に興味をもった動物について書かれている本や図鑑を選んで読む。 ○選んだ本や図鑑からクイズを作るためのメモを書く。 ○調べたことやメモを基にして，自分の「（動物名）すごいぞクイズ」を作る。	○		○	〔知識・技能〕 <u>ワークシート</u> ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 <u>児童の様子</u> ・進んで，動物に関する本や図鑑等から重要な語や文を考えて選び出し，学習課題に沿って分かったことをクイズにして説明しようとしている。
	13 14 15	○「どうぶつすごいぞクイズ」を出し合う。 ○1年生に向けて，「どうぶつすごいぞクイズ」大会を行う。 ○ビーバーとその他の動物についてのクイズ作りを通して分かったことや身に付いたことを振り返る。				

8 本時の学習

(1) 本時の目標

ビーバーがダムを作ることができる理由が書かれている語や文を選び出すことができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準と評価方法
1. 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	<p>○クイズ作りの二つの観点（コツ）について確かめた前時の学習を振り返ることで、本時のめあてに導く。</p> <p>①クイズの問題と答えがきちんと合っている。</p> <p>②分かりやすいクイズにするために、言葉を足したり、いらなところを削ったりしている。</p>	
<p>㊦クイズ作りのコツをつかって、「ビーバーすごいでクイズ②」を作ろう。</p>		
2. 本時の到達基準を知る。	<p>○本時のゴールで目指す具体的な姿を知ること、本時の学習と目的意識をもつことができるようにする。</p>	
<p>○：コツ①を使ってクイズを作ることができる。</p> <p>◎：コツ①と②を使ってクイズを作ることができる。</p>		
3. ダムを作るビーバーについて説明された部分を音読し、クイズを作る。 〈個人〉	<p>○見出しに着目させ、ダム作りに関するクイズ作りだと気付くことができるようにする。</p> <p>○大事な言葉や文（＝すごいで）に線を引くよう指示し、その部分を手掛かりとさせることで、クイズを作ることができるようにする。</p> <p>◆傍線部を基にしても、クイズがうまく作れない児童には、前時までのワークシートや教師自作のモデルの掲示物を振り返るように促し、クイズ作りの手順を想起できるようにする。</p>	<p>文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【ワークシート】</p>
4. 作ったクイズを友達と出し合い、必要に応じて付け加えや修正をする。 〈グループ→個人〉	<p>○コツ①が使えているか確認できるように、互いのクイズの問題と答えになる部分を教科書から見付けるよう促す。</p> <p>○問題の作り方や答えの作り方で参考になるものについては、全体の場で発表させ、共有できるようにする。</p> <p>○よりよい問題と答えに仕上げることができるよう、①と②のコツに関する感想を言うよう促す。</p> <p>○意見交流の後、自身が作ったクイズに付け加えや修正をする時間を設けることで、大事な言葉や文に着目したよりよいクイズ作りができるようにする。</p>	
5. 本時の活動を振り返り、次時への見通しをもつ。	<p>○できるようになったことや次時に向けた課題について自覚できるようにするため、到達基準を基に本時を振り返るよう指示する。</p> <p>○次時は「すを作るビーバー」でクイズ作りを行うこと伝える。</p>	

(3) 板書計画

ビーバーの大工事

④ クイズ作りのコツをつかって、「ビーバーすごいでクイズ②」を作ろう。

《クイズ作りのコツ》
①クイズの問題と答えがきちんと合っている。
②分かりやすいクイズにするために、言葉を足したり、
いらぬところをけずったりしている。

「ダムを作るビーバー」

大事な言葉や文（〓すごいで）に線を引く。



《クイズ作りの手じゅん》
①クイズにしたい部分（〓すごいで）をぬき出す。
②ぬき出したぶん（〓すごいで）が答えになる間だけを作る。
③答えの文を作る。

⑤ ○…コツ①をつかってクイズを作ることができる。
◎…コツ①と②をつかってクイズを作ることができる。

9 手立ての具体

(1) 見通しをもたせ、意欲を高める

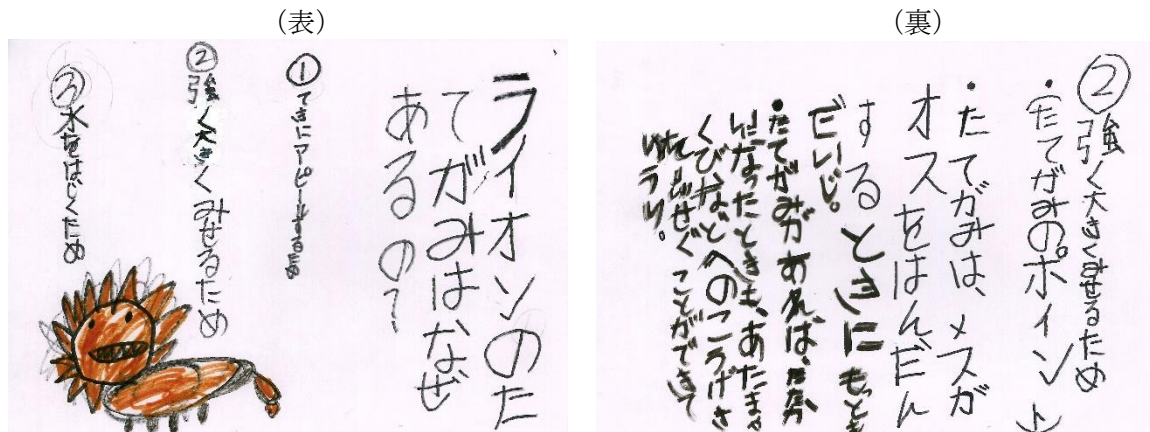
- ・パワーポイント資料を提示しながらビーバークイズをし、まずはビーバーについて興味をもち、今後どのようなことを学習していくか見通しをもたせた。ビーバークイズでは、ビーバーと見た目が似ているカピバラやヌートリアを並べて提示し、どれがビーバーか問うことで、尾の形が異なっていることに着目させ、ビーバーの体の仕組みについての興味をもたせた。
- ・考え聞かせを行い、ビーバーのひみつについて予想し、確認した。考え聞かせを行った後、教科書教材の読み取りを行ったため、内容の理解が早かった。様々な文章に触れたことにより、ビーバーへの理解が深まり、重要な語や文を選び出しやすくなった。
- ・教師自作の動物のひみつクイズを提示することで、単元の終わりにすることの見通しをもたせた。
- ・クイズ作りの手順やコツを模造紙に書いたものを黒板に掲示し、いつでも確かめられるようにした。

(2) 毎時間「ビーバーすごいでクイズ」を作る

- ・お気に入りの動物のひみつクイズ作りに向けて、ビーバーの巣作りについて工程別に学習を進めていく中で、毎時間「ビーバーすごい」と思ったところに線を引き、その部分が答えになるような問題を考えさせた。そのため、単元を通して次第に文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力が身に付いていった。

10 評価の実際

(1) 「おおむね満足できる」状況 (B) の具体



《Bと評価した際の視点》

- ・動物の特徴や身体の様子から、その動物の凄いところを選んで問題を作っている。
- ・問題と答えとが一致している。
- ・答えだけでなく、答えとなっている事柄について、ポイントや理由を示しながら解説している。

(2) 各評価の人数

- A評価… 2名
- B評価… 5名
- C評価… 2名

11 成果と課題

(1) 成果

- ・教師自作クイズを提示したり、「動物のすごいところを抜き出す→ワークシートに書く→抜き出した部分が答えとなるような問題を考える」という同じ授業展開であったため、見通しをもって取り組むことができたり、クイズを作る際のよい支援となったりした。
- ・「大事な言葉や文を見付けよう」と言っても困難であるため、大事な言葉や文とは、動物のすごいところであることを確認した上で、「動物のすごいと思うところを見付けよう」と見

- 童に分かりやすい言葉で伝えたため、線だらけになってしまうということが起こらなかった。
- ・ 1年生にクイズ大会を開くというゴールがあったため、漢字にはふりがなを書いたり、3択問題にしたりするなど、相手意識をもって活動に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・ 「重要な語や文」を「動物のすごいところ」と置き換えたが、「すごいところ」の捉え方が児童によって異なることから、どこに線を引いたらよいか見いだせない児童がいた。また、以前より線を引けるようになった児童は増えたが、「すごい」に引っかかり、動物の身体の仕組み等についてのすごいところを見いだせない児童もいた。「重要な語や文（すごいところ）」とは、「知りたいことに関係のある大事な言葉や文」を指すということを児童と共有することが大事であった。
- ・ 「知りたいことに関係のある大事な言葉や文を選ぶ」ことをねらいとするのであれば、教材を読み進める前に、児童がビーバーやその他動物の何について知りたいかを明確にしておく必要があった。それを明確にしておくことで、ビーバーについて読み取る際に、「〇〇について知りたい。だから、〇〇に関する言葉や文を選ぶ必要がある」と繋がったのではないかと考える。